

学校法人 滋慶学園 東京スポーツ・レクリエーション専門学校
平成 25 年度学校関係者評価委員会開催報告書

議事録作成者：菊池紀子

1. 開催日時：平成 26 年 6 月 19 日（木） 15：00～17：00
2. 開催場所：滋慶学園東京本部会議室
3. 参加者 学校関係者評価委員

（氏名）

兼重 武史 卒業生代表
奥山 直子 保護者代表
小峯 力 業界関係者（中央大学 教授）
前田 弘 業界関係者（財団法人 日本サッカー協会）
渡部 広介 業界関係者（フィットネスマーケティング 代表）
森 章 高校関係者（拓殖大学附属紅陵高等学校 学校長）
田中 英里 近隣関係者（行船有限会社 副社長）

学校側参加者

浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園	理事長
平田 豪成	同	常務理事
古島 昭博	同	評議員
後関 慎司	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	副学校長
高平 敦	同	事務局次長
菅原 大輔	同	部長
菊池 紀子	同	FDC

4. 会議の概要

- （1）全委員の委嘱状交付
- （2）平成 25 年度の自己評価（中項目）内容
- （3）平成 26 年度の重点目標説明
- （4）質疑応答
- （5）評価シートの記入方法説明・記入

（自己点検評価・重点目標説明への意見）

意見 1 <学校運営>

森：欠席については、2 回欠席すると、その学生に警告があるということですが、担任から学生へはどのようにアプローチをしているのか？

高平：本人への連絡や保護者への報告を行っている。また年間 4 回、保護者に向けた出席状況を紙でも通知している。

奥村：通知が親の所に来るのは、実家から離れて一人暮らしをさせている親としては、とても助かった。

意見2 <教育成果>

森：スポーツ分野での就職では、40代以降の人生設計がしづらいと考えるが、その不安をどのように払拭しているのか。

菅原：授業の中で、それぞれの業種の企業の方にキャリア設定について、話をしてもらい、イメージを作れるようにしている。

森：高校の体育教員でも、若い先生に比べて体が動かなくなった時に、どのように雇用していくのが、高校でも課題になっている。

古島：卒業生に向けて、3年後、5年後、7年後を考えていくアンケートを実施したところ、徐々にマネジメントを考えるようになっていく。

5. 学校関係者評価結果、ならびに委員会での意見を踏まえた改善方策について

今回の学校関係者評価、ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

情報公開の整備については、早急に対処するものとし、学生、保護者、業界（企業）、地域、高等学校等に対して、開かれた学校運営ができるよう、努めるものとする。